

施策7-1 行政経営の推進

あるべき姿

効率的・効果的な行財政運営が行われています。

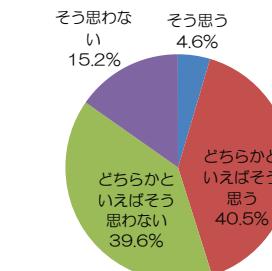
成果指標

指標名	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成32年度)	説明
効率的・効果的な行財政運営が行われていると感じる市民の割合	45.1% (平成27年度)	70%	まちづくりアンケートで「阿賀野市の行財政運営が効率的・効果的に行われていると思いますか。」の問い合わせに対し、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合です。
施策目標の達成率	*****	100%	基本計画に掲げた28施策のうち、成果指標を達成した施策の割合です

施策をとりまく環境変化と課題／施策の基本方針

- 少子高齢化の進行などにより新たな行政課題が増大している中においても、必要な行政サービスを提供できる行政運営体制の確立と、行政ニーズに対応できる組織づくりが必要となっています。事務事業の成果を評価・検証して、見直しや人的資源と財源配分を行うPDCAサイクルによるマネジメントを推進します。
- 合併特例措置の段階的縮減に伴い、普通交付税が平成27年度から5年間かけて減少している一方で、社会保障関係経費やまちづくりのための必要経費の増加が見込まれます。歳出全般にわたる徹底した経費削減に努め、持続可能な予算規模の編成を目指し、健全財政の堅持に努めます。
- 公共施設や公共インフラの多くは、高度成長期後に集中的に整備されたものであり、老朽化が進み、今後一斉に更新の時期を迎えます。一方で、人口減少など社会情勢も変化し、公共施設の利用需要や財政状況も変化していくことが予想されます。公共施設等を取り巻く現状と課題を把握し、利用需要に合う施設の更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うとともに安全安心の確保を図ります。

効率的・効果的な行財政運営が行われていると感じる市民の割合



出典：まちづくりアンケート

基本事業

基本事業名	あるべき姿	指標名	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成32年度)
1 成果重視の行政経営の推進	PDCAサイクルが確立され、成果重視の行政運営が行われています。	基本事業目標の達成率	*****	100%
		成果が順調・向上した事務事業の割合	*****	100%
		施策や事業の成果を意識して業務を行っている職員の割合	73.5% (平成27年度)	100%
		行政評価と予算・決算が連動していると感じる職員の割合	43.2% (平成27年度)	100%
2 健全な財政運営の推進	健全な財政が運営されています。	実質公債費比率	14.6%	13.0%
		将来負担比率	124.2%	177.5%
		財政調整基金残高	1,826,538千円	2,100,000千円
3 組織・人事マネジメントの充実	多様化・高度化する行政ニーズに対応できる職員・組織になっています。	職員数	488人	467人
		市の職員がそれぞれの職責を果たしていると感じる職員の割合	85.4% (平成27年度)	100%
		組織間・組織内連携が十分に図られていると感じる職員の割合	51.2% (平成27年度)	75%
		組織・職員が市民・地域の問題や行政課題に関して、迅速かつ適切に対応・解決できていると感じる職員の割合	70.5% (平成27年度)	80%
		適材適所な人材が配置されていると感じる職員の割合	43.4% (平成27年度)	70%
4 公共施設等のマネジメントの推進	公共施設等が適正に配置され、適正な維持管理により長寿命化が図られています。	市民1人当たりの公共施設等延床面積	4.31m ²	4.25m ²
5 自主財源の確保	自主財源が確保されています。	市税収納率	93.15%	96.02%
		市税滞納額	2億7,206万円	1億7,126万円

用語解説

実質公債費比率：借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化したものです。

将来負担比率：借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化したものです。

財政調整基金残高：年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てた、財政調整基金の年度末における残高。

施策7-2 適切な事務執行とサービス提供

あるべき姿

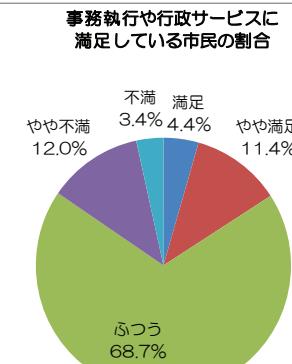
職員が適切な事務執行を行い、行政サービスが提供されています。

成果指標

指標名	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成32年度)	説明
適正な事務処理がされず市民に影響を与えた件数	〇件	〇件	「法令等違反・不適正な事務処理等」の事案で阿賀野市綱紀委員会において、懲戒処分等を受けた件数です。
事務執行や行政サービスに満足している市民の割合	84.6% (平成27年度)	90%	まちづくりアンケートで「市の事務執行や行政サービスについて満足していますか。」の問い合わせに対し、「満足」「やや満足」「ふつう」と回答した市民の割合です。

施策をとりまく環境変化と課題／施策の基本方針

- インターネットを始めとする情報通信技術の発展と普及により、個人情報の漏えいや不正アクセスが問題化しています。個人情報を取扱う職員に対するセキュリティ教育を徹底し、情報セキュリティポリシーを的確に運用します。
- 若者の選挙離れ等により投票率が低下傾向にあります。選挙人の利便性を図ると同時に啓発を強化し、投票率の向上に取り組みます。
- 市民と行政は、様々なライフステージで密接に関係しているため、その時々において様々な手続きが必要となります。市民の立場に立った申請手続の簡素化や待ち時間の短縮など、市民目線でのサービスの提供に努めます。



出典：まちづくりアンケート

基本事業

基本事業名	あるべき姿	指標名	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成32年度)
1 情報の適切な管理	情報が適切に管理されています。	情報漏えい件数	〇件	〇件
2 出納事務の適正執行	適正に執行されています。	会計事務処理の事故件数	〇件	〇件
3 積極的な選挙啓発と適正な選挙事務の執行	投票に関する権利の行使への意識が高まっています。 選挙事務が適正に執行されています。	国政選挙投票率	54.33%	56.50%
		県政選挙投票率 (平成24年度)	67.59%	69.60%
		市政選挙投票率 (平成24年度)	68.54%	70.60%
		選挙事務上の事故件数	〇件	〇件
4 迅速・確実な窓口サービスの提供	窓口の職員対応に満足している市民の割合 (平成27年度)	窓口の職員対応に満足している市民の割合	90.1%	95%
		窓口業務での不適切な事務処理を行った件数（綱紀委員会の指摘件数）	〇件	〇件
5 監査事務の適正執行	適正に執行されています。	監査事務処理の事故件数	〇件	〇件
6 議会事務の適正執行	適正に執行されています。	議会事務処理の事故件数	〇件	〇件
7 ITの適切な管理	適正に執行されています。	システムダウン件数	〇件	〇件
		ウイルス感染件数（ウイルス対策ソフトで駆除されたものは除く。）	〇件	〇件